

平成19年8月

検査実施料新設のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 この度、「保医発 第0731001号」により、下記の検査項目に検査
 実施料が新設されましたのでご案内いたします。

敬白

記

- 適用日 : 平成19年 8月 1日から適用
- 検査実施料が新設された検査項目

検査項目名	実施料	判断料区分	診療報酬 点数表区分	備考
低カルボキシル化 オステオカルシン (ucOC) 精密測定	170点	生化学的検査(Ⅱ) (135点)	「D008」 内分泌学的 検査の 「16」	ア. 低カルボキシル化オステオカルシン (ucOC) 精密測定は、区分「D008」内 分泌学的検査の「16」のオステオカルシ ン精密測定に準じて算定できる。 イ. 低カルボキシル化オステオカルシン (ucOC) 精密測定は、骨粗鬆症における ビタミン K2 剤の治療選択目的で行った 場合又は治療経過観察を行った場合に算 定できる。ただし、治療開始前において は1回、その後は6月以内に1回に限り 算定できる。
抗 GM1 IgG 抗体	460点	免疫学的検査 (144点)	「D009」 腫瘍マーカ ーの「16」 に準じて算 定	ア. 抗 GM1 IgG 抗体は、区分「D014」自 己抗体検査に準じ、区分「D026」検体検 査判断料の「5」の免疫学的検査判断料を 算定する。 ただし、検査料については、区分 「D009」腫瘍マーカーの「16」のインタ ーロイキン 2 受容体 (IL-2R) 精密測定 に準じて算定できる。 イ. 抗 GM1 IgG 抗体は、ELISA 法により、 進行性筋力低下又は深部腱反射低下等の ギラン・バレー症候群が疑われる所見が 見られる場合において、診断時に1回に 限り算定でき、経過観察時は算定できな い。

※ 現時点では上記項目の受託はお受けしていません。

検査項目名	実施料	判断料区分	診療報酬 点数表区分	備考
抗 GQ1b IgG 抗体	460点	免疫学的検査 (144点)	「D009」 腫瘍マーカーの「16」 に準じて算定	<p>ア. 抗 GQ1b IgG 抗体は、区分「D014」自己抗体検査に準じ、区分「D026」検体検査判断料の「5」の免疫学的検査判断料を算定する。</p> <p>ただし、検査料については、区分「D009」腫瘍マーカーの「16」のインターロイキン 2 受容体 (IL-2R) 精密測定に準じて算定できる。</p> <p>イ. 抗 GQ1b IgG 抗体は、ELISA 法により、眼筋麻痺又は小脳性運動失調等のフィッシャー症候群が疑われる場合において、診断時に 1 回に限り算定でき、経過観察時は算定できない。</p>

※ 現時点では上記項目の受託はお受けしていません。